

2019 年 5 月 30 日
七十七証券株式会社

「金融商品の販売にかかる成果指標（K P I）」について

七十七証券株式会社（社長 鈴木 勇）は、2018 年 5 月 29 日付で公表した「2018 年度『顧客本位の業務運営に係わる実践計画』」に基づき、2019 年 3 月末基準の「金融商品の販売にかかる成果指標（K P I）」をお知らせいたします。

記

1. 投資信託販売会社における比較可能な共通K P I（別紙1）

- （1）投資信託の運用損益別顧客比率
- （2）投資信託預り資産残高上位 20 銘柄のコスト・リターン
- （3）投資信託預り資産残高上位 20 銘柄のリスク・リターン

※ 「投資信託販売会社における比較可能な共通K P I」は、2018 年 6 月 29 日に金融庁が公表した「投資信託販売会社における比較可能な共通K P I について」に基づき、作成しています。

2. 金融商品の販売にかかる成果指標（自主的K P I）（別紙2）

- （1）投資信託販売上位銘柄の調査
- （2）多様化する顧客ニーズを踏まえた商品ラインアップ等の見直し、拡充
- （3）銀証連携の強化
- （4）お客さまに分かりやすい情報提供

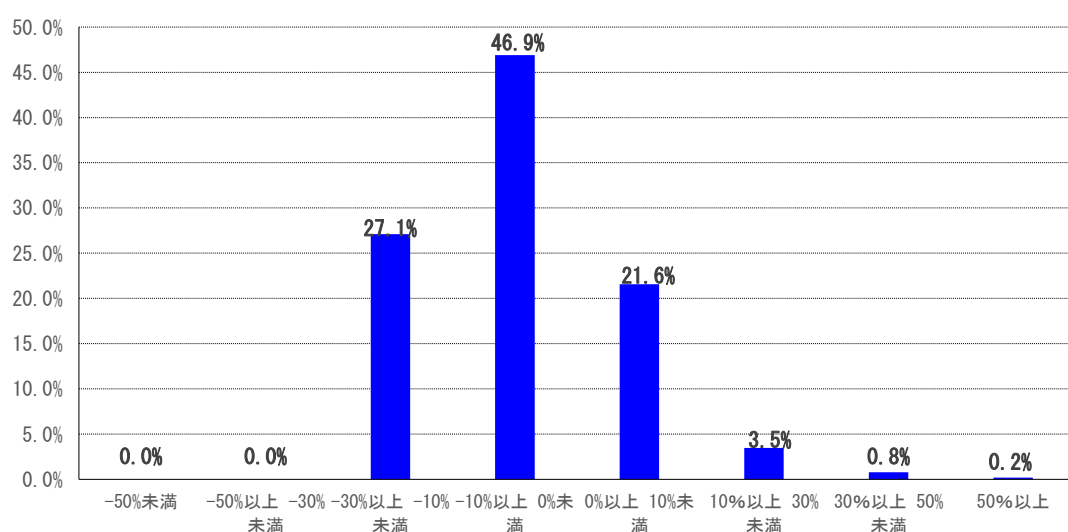
以 上

(別紙 1)

投資信託の販売会社における比較可能な共通 K P I

1. 投資信託の運用損益別顧客比率

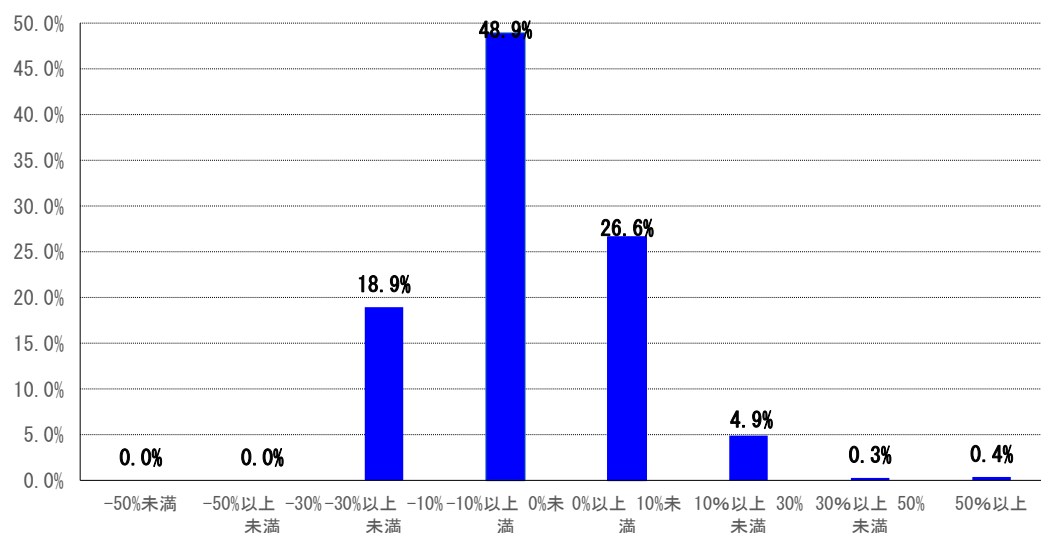
- ・ 投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託にかかる購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別に顧客比率を示しています。
- ・ この指標により、個々のお客さまが保有している投資信託について、購入時以降の分布運用損益の状況を見ることができます。
- ・ 26.1%のお客さまの運用損益がプラスになっています。また、参考として、売却時による実現損益を含む投資信託の運用損益別顧客比率（自主的 K P I）では、32.2%のお客さまがプラスになっています。
- ・ 「-10%以上0%未満」のお客さまの割合が最も高くなっています。当社は、開業後まもないことから、お客さまの投資信託保有期間が短く、購入時手数料に相当する分のマイナスや相場変動等の影響が考えられますが、お客さまの資産運用をサポートするため、今後も長期・分散投資に見合った商品導入、情報提供に努めます。



※ 2019年3月末時点で投資信託を保有している個人のお客さまの比率。

※ 計算における分母は時価評価額。

(参考) 売却等による実現損益を含む運用損益別顧客比率

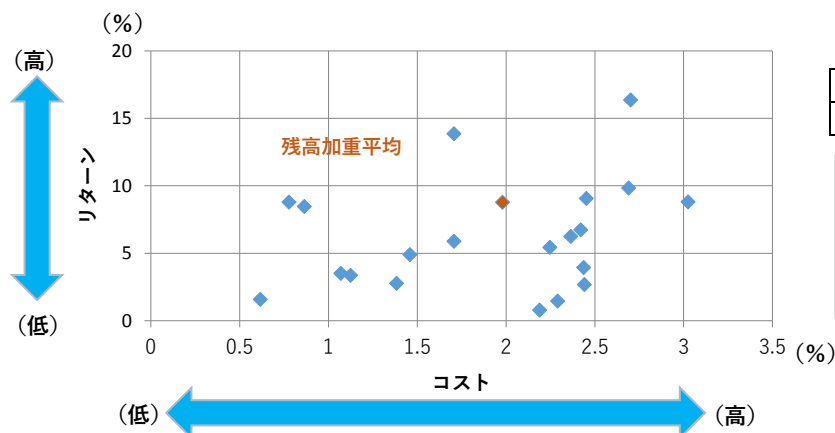


※ 2019年3月末時点で投資信託を保有、または2018年度中にお取引のあった個人のお客さまの比率。

※ 計算における分母は投資金額。

2. 投資信託預り資産残高上位20銘柄のコスト・リターン

- ・ 設定後5年以上の投資信託の預り資産残高上位20銘柄（2019年3月末基準）について、銘柄毎および預り残高加重平均のコストとリターンの関係を示しています。
- ・ この指標により、コストに見合ったリターンの実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを見ることができます。
- ・ 投資信託の預り残高上位20銘柄のうち18銘柄でリターンがコストを上回っています。

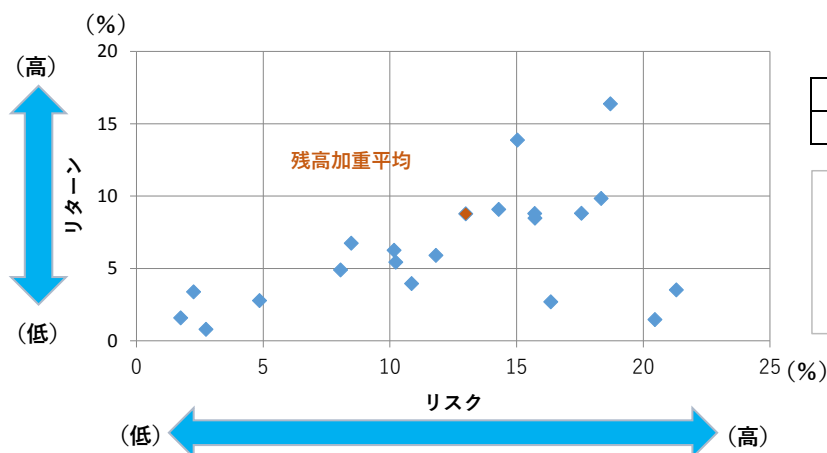


	コスト (%)	リターン (%)
残高加重平均値	1.98	8.76

※コスト：販売手数料上限（消費税込）の1/5（年率換算）と信託報酬の合計
 ※リターン：過去5年間のトータル・リターン

3. 投資信託預り資産残高上位20銘柄のリスク・リターン

- ・ 設定後5年以上の投資信託の預り資産残高上位20銘柄（2019年3月末基準）について、銘柄毎および預り残高加重平均のリスクとリターンの関係を示しています。
- ・ この指標により、リスクに見合ったリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供していたかを見ることができます。
- ・ 今後ともリスク・リターンのバランスの取れた商品の提供に取り組んでまいります。



	リスク (%)	リターン (%)
残高加重平均値	13.00	8.76

※リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
 ※リターン：過去5年間のトータル・リターン

No.	銘柄名	コスト (%)	リスク (%)	リターン (%)
1	ひふみプラス	1.71	15.03	13.87
2	新光ビュア・インド株式ファンド	2.69	18.33	9.84
3	netWIN ゴールドマン・サックス・インターネット戦略ファンドBコース（為替ヘッジなし）	2.70	18.70	16.38
4	野村インド債券ファンド（毎月分配型）	2.36	10.16	6.26
5	バンクローン・ファンド（ヘッジあり／年1回決算型）	2.19	2.74	0.79
6	日経225ノーロードオープン	0.86	15.72	8.48
7	BNYメロン・日本株式ファンド 市場リスク管理型	2.42	8.47	6.74
8	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.46	8.05	4.90
9	のむらップ・ファンド（保守型）	1.38	4.85	2.77
10	LM・オーストラリア高配当株ファンド（毎月分配型）	2.44	16.35	2.69

No.	銘柄名	コスト (%)	リスク (%)	リターン (%)
11	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.25	10.23	5.44
12	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）	1.12	2.25	3.38
13	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.02	17.56	8.81
14	トヨタグループ株式ファンド	1.07	21.30	3.52
15	三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>（毎月分配型）	2.29	20.46	1.47
16	インデックスファンド225	0.78	15.71	8.80
17	ニッセイ・ワールドスポーツ・ファンドーメダリストーBコース（為替ヘッジなし）	2.45	14.29	9.08
18	ビクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.44	10.85	3.95
19	野村円債投資インデックスファンド	0.62	1.74	1.58
20	のむらップ・ファンド（積極型）	1.71	11.81	5.90

金融商品の販売にかかる成果指標（自主的KPI）

1. 投資信託販売上位銘柄の調査

お客さまの多様な運用ニーズにお応えする投資信託商品を取り揃えるため、定期的に投資信託の販売上位銘柄の調査を行い、商品ラインアップの見直し、拡充に活用しています。

<2017年度上半期>

(単位：百万円、%)

No.	商品名	商品種類	販売額	販売比率
1	いちよし中小型成長株ファンド [※] 愛称：あすなろ	国内株式	540	29.8
2	グローバルAIファンド [※]	内外株式	237	13.1
3	野村インド債券ファンド [※] 毎月分配型	海外株式	225	12.4
4	野村インド債券ファンド [※] 年2回決算型	海外株式	172	9.5
5	LM・オーストラリア高配当株ファンド [※] 毎月分配型	海外バランス	125	6.9
6	新光ビュア・インド株式ファンド [※]	海外株式	122	6.7
7	アムンディ・欧州セレクトティブ・リート・ファンド [※] (毎月決算型)	海外REIT	49	2.7
8	ロボット・テクノロジー関連株ファンド [※] -ロボテック-	内外株式	41	2.3
9	JPMベスト・インカム(年1回決算型)	内外バランス	26	1.4
10	GSアジア・ハイ・イールド債券ファンド [※] 米ドルコース	海外債券	25	1.4

<2017年度下半期>

(単位：百万円、%)

No.	商品名	商品種類	販売額	販売比率
1	ひふみプラス	内外株式	930	28.0
2	いちよし ジャパン・ベンチャー・ファンド [※]	国内株式	572	17.2
3	グローバルAIファンド [※]	内外株式	365	11.0
4	ワールド・ビューティ・オープン(為替ヘッジなし)	内外株式	260	7.8
5	グローバル・ロボティクス株式ファンド [※] 1年決算型	内外株式	181	5.4
6	BNYメロン・日本株式ファンド [※] 市場リスク管理型	国内株式	144	4.3
7	新光ビュア・インド株式ファンド [※]	海外株式	89	2.7
8	グローバル・ロボティクス株式ファンド [※] (年2回決算型)	内外株式	76	2.3
9	野村インド債券ファンド [※] (毎月分配型)	海外債券	74	2.2
10	AI(人工知能)活用型世界株ファンド [※]	海外株式	73	2.2

<2018年度上半期>

(単位：百万円、%)

No.	商品名	商品種類	販売額	販売比率
1	いちよしジャパン成長株ファンド [※] 愛称：天の川	国内株式	893	32.8
2	企業価値成長小型株ファンド [※] 愛称：眼力	国内株式	389	14.3
3	netWIN GS・インターネット戦略ファンド [※] Bコース 為替ヘッジなし	海外株式	226	8.3
4	日経225ノロッドオープン	国内株式	219	8.0
5	ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド [※] AI新時代 為替ヘッジなし	内外株式	165	6.0
6	ひふみプラス	内外株式	133	4.9
7	いちよし中小型成長株ファンド [※] 愛称：あすなろ	国内株式	118	4.3
8	<七十七>ESG日本株オープン 愛称：みやぎの絆	国内株式	105	3.8
9	グローバルAIファンド [※]	内外株式	91	3.3
10	ワールド・ビューティ・オープン(為替ヘッジなし)	内外株式	48	1.8

<2018年度下半期>

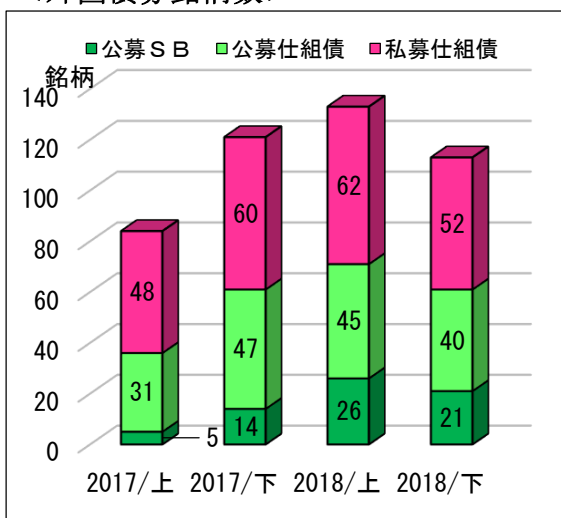
(単位：百万円、%)

No.	商品名	商品種類	販売額	販売比率
1	サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)	内外株式	330	16.1
2	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド [※] 愛称：THE 5G	内外株式	293	14.3
3	企業価値成長小型株ファンド [※] 愛称：眼力	国内株式	272	13.3
4	野村インド債券ファンド [※] 年2回決算型	海外債券	207	10.1
5	日経225ノロッドオープン	国内株式	114	5.5
6	ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド [※] 2019-02 愛称：プライムOne2019-02	内外バランス	93	4.5
7	日本インバウンドオープン	国内バランス	72	3.5
8	財産3分法ファンド [※] (不動産・債券・株式) 毎月分配型	内外バランス	70	3.4
9	ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド [※] 2019-02 愛称：プライムOne2018-12	内外バランス	61	3.0
10	新光ビュア・インド株式ファンド [※]	海外株式	48	2.3

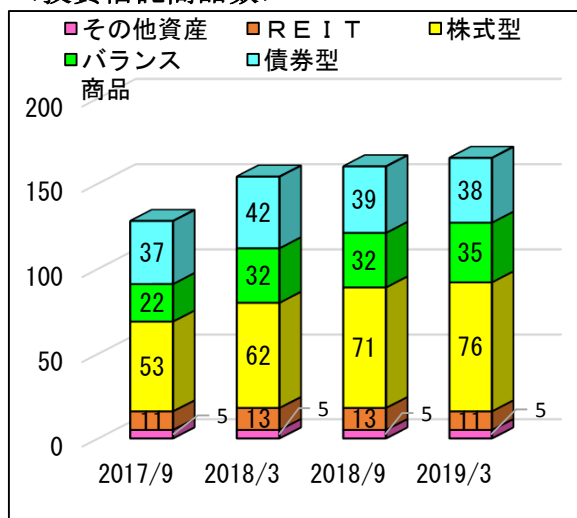
2. 多様化する顧客ニーズを踏まえた商品ラインアップ等の見直し、拡充

お客さまの多様な運用ニーズにお応えするため、市場動向や販売状況の調査結果等を踏まえ、外国債券および投資信託の商品ラインアップ等を定期的に見直すとともに、商品の拡充を図っています。

<外国債券銘柄数>



<投資信託商品数>



<投資信託商品数内訳>

(単位：商品)

商品種類	2017/9			2018/3			2018/9			2019/3		
	商品数	うち銀行・証券	うち証券のみ	商品数	うち銀行・証券	うち証券のみ	商品数	うち銀行・証券	うち証券のみ	商品数	うち銀行・証券	うち証券のみ
債券型	37	14	23	42	19	23	39	16	23	38	16	22
国内債券	7	2	5	7	2	5	6	1	5	5	1	4
内外債券	2	2	0	4	4	0	3	3	0	3	3	0
海外債券	28	10	18	31	13	18	30	12	18	30	12	18
バランス型	22	20	2	32	23	9	32	22	10	35	22	13
国内バランス	1	1	0	2	2	0	2	2	0	3	2	1
内外バランス	18	16	2	20	18	2	20	17	3	20	17	3
海外バランス	3	3	0	10	3	7	10	3	7	12	3	9
株式型	53	15	38	62	17	45	71	19	52	76	20	56
国内株式	19	10	9	19	10	9	23	10	13	23	11	12
内外株式	16	3	13	19	3	16	22	5	17	28	5	23
海外株式	18	2	16	24	4	20	26	4	22	25	4	21
REIT	11	5	6	13	7	6	13	7	6	11	7	4
国内REIT	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0
内外REIT	4	2	2	4	2	2	4	2	2	4	2	2
海外REIT	6	2	4	8	4	4	8	4	4	6	4	2
その他資産	5	4	1	5	4	1	5	4	1	5	4	1
国内その他資産	1		1	1		1	1		1	1		1
海外その他資産	4	4	0	4	4	0	4	4	0	4	4	0
合 計	128	58	70	154	70	84	160	68	92	165	69	96

※ 「商品数」欄内訳の「うち銀行・証券」は、当社取扱商品のうち七十七銀行においても取扱いしている商品、「うち証券のみ」は、七十七銀行で取扱いしていない商品の数を記載しています。

3. 銀証連携の強化

・七十七銀行との銀証研修会の開催

七十七銀行行員の金融商品販売スキル向上等を目的として、当社営業員を講師とした銀証研修会を開催し、お客さまのニーズに沿ったポートフォリオ提案や、分かり易い説明等、お客様への提案の「質」向上を図るための取組みを行っており、今後も、継続して実施してまいります。

・七十七銀行と連携した投資信託セミナーの開催

七十七銀行と投資信託セミナーを共同開催し、当社・七十七銀行が取扱う投資信託商品の運用状況等を、お客さまにご報告する場を設けております。今後も、七十七銀行との連携によるセミナーを定期的に開催し、お客さまに有益な情報の提供に努めてまいります。

項 目		実績(開催店・参加者)
七十七銀行との銀証研修会の開催	2018/上	18ヵ店
	2018/下	42ヵ店
七十七銀行と連携した 投資信託セミナーの開催	2018/8	69名
	2019/2	145名

4. お客さまに分かりやすい情報提供

・資産運用、マーケット状況に関する情報提供に資するセミナーの開催

お客さまに、資産運用、マーケット状況に関する情報を提供するため、セミナーを開催しております。今後も、同様のセミナーを開催し、お客さまへの情報提供に努めてまいります。

項 目	実績(参加者)
開業1周年セミナー(2018/4)	143名
投資信託セミナー(2018/7)	54名
新春セミナー(2019/1)	110名